

特定労務管理対象機関指定予定の医療機関について

1 医師の働き方改革について

- 令和 6 年 4 月から、医師について年間 960 時間（A 水準）の時間外・休日労働の上限規制が適用される。
- しかし、一定の要件を満たし、都道府県から特例水準（B、連携 B、C）の指定を受けた医療機関については、上限が年間 1,860 時間となり、本指定を受けた医療機関は「特定労務管理対象機関」と呼ばれる。

水準	事由
B 水準	地域医療の確保のため（救急医療、在宅医療等）
連携 B 水準	兼業先との労働時間を通算すると長時間労働となるため
C－1 水準	臨床研修・専門研修医の研修のため
C－2 水準	長時間修練が必要な技能の修得のため

2 特例労務管理対象機関に指定予定の医療機関

- 県内では、5 医療機関について特定労務管理対象機関の指定を予定している。
（B 及び連携 B 水準：1 医療機関 B 水準：4 医療機関）
- いずれの医療機関も医療機関勤務評価センターによる評価は完了しており、各医療機関からの申請を受け、今後指定を行う。

3 今後の手続きについて

- 1 月～2 月 各医療機関から県あて指定申請
- 2 月 県による書類審査等
- 3 月中旬 医療審議会における意見聴取
- 3 月末 県から各医療機関あて指定通知（令和 6 年 4 月 1 日付けで指定）